

(案)

資料No.4

令和3年版

環境に関する年次報告書

(令和2年度実績)



(令和2年度竣工 柿最終処分場)

長岡市

(案)

はじめに

近年、台風の大規模化や記録的豪雨の頻発など、地球温暖化による気候変動が要因と考えられている様々な影響が顕在化し、今後ますます深刻化すると考えられています。このような中、国際的には、2015年に持続可能な開発目標（SDGs）を掲げる「持続可能な開発のための2030アジェンダ」や「パリ協定」など、今後、世界各国が協働して地球温暖化などの問題に取り組んでいく枠組みが採択されています。

私たちは、地球規模の視点に立ちながら、持続可能な社会を実現するため、自然環境の保全や地球温暖化対策、循環型社会・自然共生社会の構築など、環境問題に対する取り組みをこれまで以上に推進していく必要があります。

本市では、より良い環境を築くため、「良好な環境の将来世代への継承」を基本理念として、長岡市環境基本計画を平成8年に策定しました。さらに、社会情勢の変化や多様化・複雑化する環境問題に対応するため、第4次長岡市環境基本計画を平成30年8月に策定し様々な施策を推進しています。

この「環境に関する年次報告書」は、長岡市環境基本条例に基づき、長岡市の環境の現状や、令和2年度に実施した環境に関する施策などについて取りまとめ、公表するものです。

この報告書が、市民の皆様から長岡市の環境について理解を深めていただき、日々の取り組みにつなげていただく一助となることを願っております。

令和 年 月